

たばた直子

議会報告
レポート
VOL.17



市政報告会を行いました。

○一期目に力を入れた政策

- 1、防災対策・液状化対策
- 2、子育て施策（保育・子どもルーム等）
- 3、高齢化対策（地域包括ケアシステムの構築等）
- 4、地域課題解決に向けて（学校統廃合等）

○党県連議員としての取り組み

- 1、国との連携（液状化対策・震災後の放射能対策）
- 2、県との連携（県企業庁等）
- 3、県内女性議員・青年委員会の活動
(産後ケア・公立・民間保育園の違い・救急車ICT化・図書館視察、学校のトイレ洋式化等)

○継続した市政報告会の実施

家庭ごみ手数料有料化・本庁舎建て替え等の施策を議会での方向性や決定がなされる前に、共に議論

○市民の方々との居場所づくり・政策立案

地域で頑張る団体や子育て世代の市民の方と共に街づくりを話し、政策に繋げるミーティングやイベントの開催。

衆議院議員 たじま要氏



田畠直子 市政報告会 の様子



また熊谷市長とのトークセッションでは、三元代表制の立場から、それぞれ考え方や今後の展望を語り、参加者の皆様と未來の千葉市についてビジョンの共有をしました。

○高齢者施策について

住み慣れた地域で安心して医療・介護・看護を受けられるために。元気な今から考える今後の人生設計。三世代同居支援事業等の千葉市の取り組み。



○子育て支援について

保育所待機児童〇を実現した、その先の子育て支援。放課後の子どもの居場所・男性の子育て参加。

※HPで当日の動画を見ていただくことができます。“たばた直子”で検索してください。

実現!

私が一般質問で提言した高齢化対策のための組織改正が実現しました。

地域包括ケアシステムを確実に推進していくため、各所管の取り組みを体系的に行う必要性、庁内外のコーディネート機能・イニシアチブを取る担当課の必要性を一般質問で訴え、春から地域包括ケアシステム課が新設され、全庁横断的に取り組みが進むことになりました。これからも先進自治体の取り組みを研究し、本市に反映させていきます。

第一回定例会で市長提案の予算議案等をすべて可決しました。(2月16日~3月5日)

- 一般会計 3903 億 8800 万円 (前年度比 4.0%増)
- 特別会計 4380 億 8600 万円 (前年度比 3.5%増)

合計 8284億円7400万円 (前年度比3.7%増)

✿ 主な予算(新規・拡充を中心に)✿

- H28.4月～市税徴収のクレジット納付開始
- 証明書のコンビニ交付サービス等の導入(H29.1月～)→田畠直子の政策実現!
- 区役所窓口改革の推進【20万円】(債務負担行為 10億 5,500万円)
総合窓口によるワンストップサービスの導入 (H29.1月～)
- 自転車駐車場利用料金の納付方式を改善
コンビニ・クレジット・銀行窓口による支払い可能に。(H28～)
- 定期・任意成人用肺炎球菌の予防接種、自己負担額が 3000 円減額。
- 高齢者生活支援サービス基盤づくり【150万円】
- 認知症疾患医療センター 相談員 1人 → 2人【1145万円】
- ひきこもり地域支援センター設置運営【200万円】
- 幕張新都心賑わいの向上【350万円】
- 保育の質の確保 三歳児配置改善 保育士配置基準 20：1 → 15：1
給食指導・支援嘱託員の配置・巡回指導の強化
- 地域包括ケアシステム構築の推進【約 2,800 万円】
*家族介護者支援センター・研修所の設置
*シニアリーダー講座 *在宅医療・介護連携研修

その他一般議案、補正予算議案

- 公立保育所等の保護者連絡にショートメッセージサービスを活用します。

プロフィール PROFILE

- 1976 年生まれ 39 歳
- 0 歳時に稻毛海岸三丁目団地に転入。稻毛幼稚園出身、小学校 3 年生まで千葉市で過ごす。
- 父の仕事の関係で名古屋・東京へ。
- 1994 年 都立竹早高等学校 卒業
- 1996 年 東京女子大学文理学部 中退
- 結婚・出産を経て、再び千葉市へ。
- 子育てをしながら、財団法人等で非常勤職員として勤務。学校 PTA 活動やボーリスカウト活動を通じて、子育ての課題、地域連携の重要性を感じる。公募で民主党市議会議員候補となり、2011 年に初当選。
- 民主党千葉県連 青年委員会・男女参画共同委員会
全国若手市議会議員の会 所属



高齢化対策を推進するため、議員団会議の研究会に属し、会議・研究を重ねています。

団塊の世代が後期高齢者（75歳以上）になる10年後の2025年には千葉市の後期高齢者は現在の8万人から18万4000人に急激に増加します。医療・介護のサービスが不足することも予想されるため、**地域包括ケアシステム**と**「住み慣れた地域で住み続けることができる医療・介護・看護の連携体制を作っていくことが重要です。**特養老人ホームの待機者は約2000人といわれ（重複申し込みも含む）施設を美浜区内に作っても、私たちが優先的に入ることができるのは、健康寿命を延ばすことや在宅医療の推進など、一人一人の意識の改革も必要となります。私たちは親が団塊の世代。親を介護しなければならない責任ある身として、しっかりと高齢者対策にも力を注いでいきます。



データで知ろう。 千葉市の医療と介護

■ 高齢化率（65歳以上）

平成27年 **25万1000人 (26%)**

平成37年 **28万6000人 (29.7%)**

※認知症出現率10.20% → 12.80%に

■ 看護師数 人口10万人当たり（H22）

千葉市 **778.0人**

全国平均 **1031.5人**

■ 医療機関の病床数 人口10万人あたり（H22）

千葉市 **931.9床**

全国平均 **1244.3床**

■ 医療施設数 人口10万人あたり（H25）

《病院》

千葉市 **4.8か所**

全国平均 **6.7か所**

《一般診療所》

千葉市 **69.9か所**

全国平均 **78.7か所**

ご意見お待ちしております！

- お名前
- ご住所
- TEL/e-mail

* 皆さんのご意見をお寄せください。地域の課題等お知らせください。

ご意見メモ

FAX : 043-216-3891 までお送りください



市民の方々と協働政策提案をします！

少子高齢化が進み、現代社会の課題には行政の力だけでは解決できないことがあります。行政では、市民団体や企業との協働事業提案制度や市民シンクタンク事業を導入し、事業の改善や市民サービスの向上につなげています。私達、議員は市民の方々から陳情を受け、行政に改善を求めることが役割の一つですが、政策形成段階においても、市民の方々と力を合わせる必要があると考えます。また、市民の方にとってもただ要望するだけではなく、自ら、課題解決のために活動することが、自分たちの街をよりよくする近道になります。そこで私は地域のために活動している市民の方々と共にミーティングを行い、政策実現に向けて活動するグループを作りました。また、地域全体の子どもたちのためにより良い子育て環境を作ろうと活動しているパパ・ママとともに協働政策提案をします。

パパ・ママとの政策提言

- 子どもたちの食を見直し、しっかりとした生活習慣・体づくりを進めます。
- 子どもたちの地域での居場所作りを進めます。
- 母親の様々な働き方をサポートする環境づくりを進めます。
- 男性の子育てをサポートし、楽しさを市民側から発信します。
- 本でつなぐ街づくりを進めます。
- 父子家庭の支援を進めます。

地域全体の子どもたちのためにより良い子育て環境を作ろうと活動しているパパ・ママとともに協働政策提案をします。

政策ミーティングチームとの研究状況

★人と人が交流し、語らい、体験する場を

- 気軽に入れるカフェ・バー
- あるテーマで語らい、体験する場

★海辺の活性化

- 海辺にカフェ、バー、レストラン、BBQ施設
- 海辺を活用したスポーツイベント、スポーツスクール
- 海辺の交通環境の改善を



イナージ MAP

海辺のカフェ、バー、レストラン、BBQ施設

ウォータースポーツスクール

スポーツイベント（マラソン、トライアスロン）

その他（恋愛スポット、釣りスポット、風力発電所、1日バス）

